

改定前	改定後
<b>1. 検査の精度管理</b>	<b>1. 検査の精度管理</b>
<b>■ 胃部エックス線読影</b>	<b>■ 胃部エックス線読影</b>
<input type="checkbox"/> (自治体や医師会等から報告を求められた場合には)読影医全数と日本消化器がん検診学会認定医数を報告する。	<input type="checkbox"/> (自治体や医師会等から報告を求められた場合には)読影医全数と日本消化器がん検診学会認定医数もしくは総合認定医数を報告する。
<input type="checkbox"/> 読影は二重読影とし、原則として判定医の一人は日本消化器がん検診学会認定医とする。	<input type="checkbox"/> 読影は二重読影とし、原則として判定医の一人は日本消化器がん検診学会認定医もしくは総合認定医とする。
<b>■ 胃内視鏡検査及び胃内視鏡画像の読影</b>	<b>■ 胃内視鏡検査及び胃内視鏡画像の読影</b>
<input type="checkbox"/> 読影委員会のメンバーは、日本消化器がん検診学会認定医、あるいは日本消化器内視鏡学会専門医の資格を取得する。	<input type="checkbox"/> 読影委員会のメンバーは、日本消化器がん検診学会認定医もしくは総合認定医、日本消化器内視鏡学会専門医のいずれかの資格を取得する。
注2 日本消化器がん検診学会発行、「対策型検診のための胃内視鏡検診マニュアル2015年度版」を参照	注2 日本消化器がん検診学会発行、「対策型検診のための胃内視鏡検診マニュアル」(2017年発行)を参照

改定前	改定後
1. 検査の精度管理	1. 検査の精度管理
胸部エックス線撮影	胸部エックス線撮影
<input type="checkbox"/> 集団検診を実施する検診機関は、1日あたりの実施可能人数を明らかにする*。 ※ 個別検診では不要	<input type="checkbox"/> 集団検診を実施する検診機関は、1日あたりの実施可能人数を明らかにする*。 ※ 個別検診及び集団検診において病院や診療所が会場に指定されている場合は不要
<input type="checkbox"/> 事前に胸部エックス線写真撮影を行う診療放射線技師に対して指示をする責任医師、及び緊急時や必要時に対応する医師などを明示した計画書を作成し、市区町村に提出する*。 ※ 個別検診では不要。また集団検診においても、医師立ち合いの下で撮影している場合や、医師が撮影している場合は不要。	解説:以下4項目の対象は、病院または診療所以外の場所において医師不在の状況下で胸部エックス線撮影を行う場合。個別検診では不要。また集団検診においても、医師立ち合いの下で撮影している場合、医師が撮影している場合、病院や診療所が会場に指定されている場合は不要。 <input type="checkbox"/> 事前に胸部エックス線写真撮影を行う診療放射線技師に対して指示をする責任医師、及び緊急時や必要時に対応する医師などを明示した計画書を作成し、市区町村に提出する。
<input type="checkbox"/> 緊急時や必要時に医師に連絡できる体制を整備する*。 ※ 個別検診では不要。また集団検診においても、医師立ち合いの下で撮影している場合や、医師が撮影している場合は不要。	<input type="checkbox"/> 緊急時や必要時に医師に連絡できる体制を整備する。 <input type="checkbox"/> 胸部エックス線写真撮影時や緊急時のマニュアルを整備する。
<input type="checkbox"/> 胸部エックス線写真撮影時や緊急時のマニュアルを整備する*。 ※ 個別検診では不要。また集団検診においても、医師立ち合いの下で撮影している場合や、医師が撮影している場合は不要。	<input type="checkbox"/> 検診に従事する診療放射線技師が必要な教育・研修を受ける機会を確保する。
<input type="checkbox"/> 検診に従事する診療放射線技師が必要な教育・研修を受ける機会を確保する*。 ※ 個別検診では不要。また集団検診においても、医師立ち合いの下で撮影している場合や、医師が撮影している場合は不要。	
注2 4: 撮影機器、画像処理、読影用モニタの条件については、下記のサイト(日本肺癌学会ホームページ、肺がん検診委員会からのお知らせ)に掲載された最新情報を参照すること <a href="https://www.haigan.gr.jp/modules/kaiin/index.php?content_id=47">https://www.haigan.gr.jp/modules/kaiin/index.php?content_id=47</a>	注2 4: 撮影機器、画像処理、読影用モニタの条件については、下記のサイト(日本肺癌学会ホームページ、肺がん検診委員会からのお知らせ)に掲載された最新情報を参照すること <a href="https://www.haigan.gr.jp/modules/important/index.php?content_id=120">https://www.haigan.gr.jp/modules/important/index.php?content_id=120</a>
注3 細胞診判定: 肺癌取扱い規約、日本肺癌学会ホームページ「肺癌検診における喀痰細胞診の判定区分別標準的細胞」参照 <a href="http://www.haigan.gr.jp/modules/kaiin/index.php?content_id=47">http://www.haigan.gr.jp/modules/kaiin/index.php?content_id=47</a>	注3 細胞診判定: 肺癌取扱い規約、日本肺癌学会ホームページ「肺癌検診における喀痰細胞診の判定区分別標準的細胞」参照 <a href="https://www.haigan.gr.jp/modules/important/index.php?content_id=120">https://www.haigan.gr.jp/modules/important/index.php?content_id=120</a>

仕様書に明記すべき必要最低限の精度管理項目(乳がん検診)

平成31年3月

改定前	改定後
注1 乳がん検診に用いるエックス線装置の仕様基準:マンモグラフィによる乳がん検診の手引き第6版、マンモグラフィガイドライン第3版増補版参照	注1 乳がん検診に用いるエックス線装置の仕様基準:マンモグラフィによる乳がん検診の手引き第6増補版、マンモグラフィガイドライン第3版増補版参照

改定前	改定後
1. 検査の精度管理	1. 検査の精度管理
■受診者への説明	■受診者への説明
<input type="checkbox"/> 子宮頸がんの罹患は、わが国の女性のがんの中で比較的多く(2011年、5位)、また近年増加傾向にあることなどを説明する。	<input type="checkbox"/> 子宮頸がんの罹患は、わが国の女性のがんの中で比較的多く、また近年増加傾向にあることなどを説明する。